

KITAZUKE



友尾

4号明朝

5号明朝

一言道ものつと 仇討
— さあきへの大衆文學作風から —

尾山生討
5号明朝

(1)

さいまんの言道もの。大衆文學が少くな
つたと、うんかひる。たしかに戦前にくらべ
ると漸減してゐるといふことは、いふに
し目立つて減つたといふ風には思わな
い。少しなつたと取られるような印象と一
部にあはえるところでは、それは言道もの
の書かす、マスコミの前面に目立つた活
路を

三友

尾乙

(2)

私は割合に言道ものかすまで、花平万
太郎、吉井房重のものがあつた。小島政之
正岡容、長谷川幸延、柳枝完二、安藤
夫の

三友